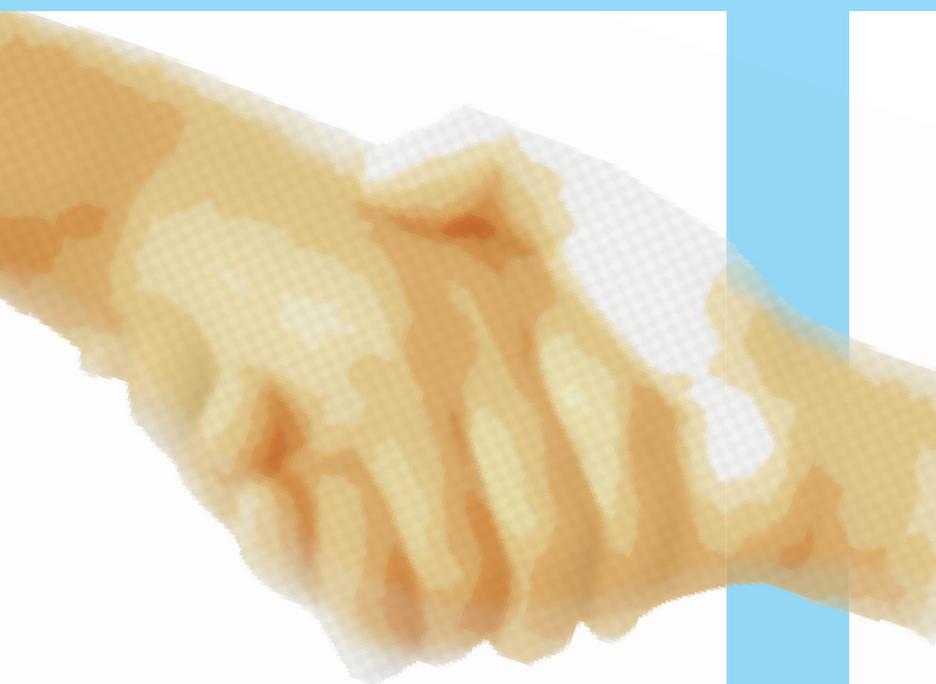


輸出管理DAY

for ACADEMIA

Export Control Day
for Academia, 2024



【日 時】 2024年 11月1日(金)
10:15~17:15

【場 所】 東京理科大学 葛飾キャンパス
図書館大ホール
(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

主 催 : 輸出管理DAY for ACADEMIA(EFA)実行委員会 共 催 : 東京理科大学

後 援 : 文部科学省・経済産業省・外務省・法務省・特定非営利活動法人 産学連携学会・
一般財団法人 安全保障貿易情報センター(CISTEC)・一般社団法人 大学技術移転協議会 (UNITT)・
株式会社 日刊工業新聞社・日本安全保障貿易学会 (JAIST)・公益社団法人 日本技術士会・
一般社団法人 日本知財学会・一般社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

協 賛 : 合同会社 日本輸出管理研究所

○本プログラムは、下記の輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) Website の「最新情報」に掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

○講演資料等は、下記の Website の「最新情報」に、少なくとも 2024年12月31日(火)まで掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

<https://efa.ken-shin.net/>

輸出管理 DAY for ACADEMIA



アカデミアの輸出管理の在り方を考える

大学・研究機関等における安全保障輸出管理に関する実務知識の普及と関係者の意識の向上を図ることを目的として、大学等に所属する実務者が中心となり、関係する政府機関、産業界にも呼び掛けて、2013年以降、これまで10回の「輸出管理 DAY for ACADEMIA」の年次大会（EFA 大会）を実施してまいりました。EFA 大会は、大学等の輸出管理関係者を中心としたコミュニティ形成に大いに資するとともに、輸出管理業務の問題の共有化、意識啓発、業務の質の向上に意義のあるイベントであり、継続して取り組むことの必要性も、参加された皆様を中心にご理解いただいているところです。

2024年11月1日（金）に開催の「輸出管理 DAY for ACADEMIA2024（EFA2024）」におきましても、関係各機関にご協力をいただき、本大会が意義深いものになると考えております。ご案内の通り、国際社会情勢の急激な変化を受け、大学等の社会的役割の変容とともに大学等が輸出管理に取り組む意義も変わり続けており、大学等の規模や実情等に応じて、より高度な輸出管理の実施が求められています。そこで EFA2024 では『アカデミアの輸出管理の在り方を考える』をテーマとして、キャッチオール現状と課題、通関手続きと税関輸出事後調査対応など、近年の課題に対応したプログラムを取り上げます。また、分科会形式を初めて取入れ、アカデミアの該非判定、アカデミアセーフガード条項についてのセッションを実施します。アカデミアの輸出管理が直面している課題にどのように対応するのが良いのかについて、輸出管理関係者が一堂に会して検討できる大会とします。本大会の開催を通じて、大学等における輸出管理体制がより適切に実施されることを目指します。

輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長
石川 綾子（名古屋大学 輸出管理マネージャー）

目 次

プログラム等-----	5
運営資金等を支援いただいた企業・機関-----	16
輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員名簿-----	20

プログラム等

【テーマ】 アカデミアの輸出管理の在り方を考える

【プログラム】

10:00～ 受付開始

10:15～11:45 分科会

分科会1 「アカデミアの該非判定」(図書館大ホール)

【概要】

該非判定は、輸出管理の本質的な要素でありながら、アカデミア、特に大学で実施する場合、多くの課題に直面致します。例えば、誰が判定を行うのか、法令の理解、多くは貨物ではなく技術の判定であること、対象の技術の理解、手法・ツールの開発が難しく、ノウハウも伝授され難いこと。本分科会では、貨物・技術リスト(合体マトリクス)を見るに当たり必要となる法令上の知識と、課題を克服するための各大学での取り組みについて、また、研究段階ですが、AI 利用の研究者支援システムについて紹介致します。

司会進行：高橋 真一(芝浦工業大学)

講師：金 美善(大阪大学)、足立 和成(山形大学)、中塚 祐子(奈良先端科学技術大学院大学)、高橋 真一(芝浦工業大学)、大林 明彦(北海道大学)

※登壇者の略歴・発表題目は8～11頁を参照。

分科会2 「輸出管理法におけるアカデミアセーフガード条項について」

(大村ホール：図書館大ホールと同フロア、右手)

【概要】

各国の輸出管理法(日本では外為法等)には、大学が担う学術の推進に対するケアとして適用できる例外規定(ここでは「アカデミアセーフガード条項」と呼びます。)が設けられています。大学では、この条項を適切に活用し、法令に従った確実な輸出管理が求められています。

本分科会では、この「アカデミアセーフガード条項」をテーマに取り上げます。まず、大学における安全保障および輸出管理に精通した2名の実務専門家に、関連する話題提

供として、日本と諸外国の制度の違いや、研究者が持つ大学輸出管理に対する理解・見解についてご紹介いただきます。それを踏まえて、大学で輸出管理の実務に携わる担当者や法律の専門家によるブレインストーミング形式のラウンドテーブルを開催し、現状の課題や改善策について意見交換を行います。

この分科会では、多角的な視点からの意見を集め、輸出管理法およびそれに基づく大学での輸出管理実務についての理解を深める貴重な機会となります。

※ アカデミアセーフガード条項:「技術の提供」の取引を規制する輸出管理法において、学術（アカデミア）の推進に一定のケアを与えることができる法律上の例外規定。日本の輸出管理法では「基礎科学分野の研究活動において技術を提供する取引」「公知の技術を提供する取引」（貿易関係貿易外取引等に関する省令 第9条より）などを指す。

モデレーター：佐藤 弘基（九州大学）

テーブル参加者：話題提供者（山田 朗（愛媛大学）、初 春（九州大学））

コメンテーター（田仲 信夫（CISTEC））

大学（国公立大、私立大）の実務者、弁護士、専門家 等
計10名

※話題提供者の略歴・発表題目は11～12頁を参照

11:45～13:00 昼食

《司会：宮下 史子（東京大学）》

13:00～13:05 主催者挨拶

石川 綾子（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長）

13:05～13:10 共催団体挨拶

向後 保雄（東京理科大学 研究担当副学長）

13:10～13:30 来賓挨拶

文部科学省 高等教育局 参事官（国際担当） 佐藤 邦明

経済産業省 貿易経済安全保障局 貿易管理部 安全保障貿易管理課長 末森 洋紀

外務省 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課長 横田 直文

財務省 関税局調査課長 酒井 健太郎

13:30～13:50 特別講演：（経済産業省）

安全保障貿易管理小委員会による中間報告について（変更の可能性あり）

13:50～15:20 パネル討論①「キャッチオール の現状と課題」

【概要】

「キャッチオール規制」、皆様の大学等でも規程などは整備されていても、実際にキャッチオール規制の手続きなどをした経験は、少ないのではないのでしょうか？

しかし、近年、AI や量子などの新興技術が急速に進展しているなかで防衛技術と民生技術の境界が曖昧になってきており、安全保障貿易管理の中でキャッチオール規制の重要性が高まっています。また、この4月に公表された経済産業省安全保障貿易管理小委員会中間報告ではキャッチオール規制の強化・拡充が謳われています。このため、大学などのアカデミアの安全保障貿易管理の現場では、キャッチオール規制の運用について様々な課題や不安を抱えているものと思います。

そこで、このセッションでは、キャッチオール規制の歴史から必要性と制度概要を改めて紹介するとともに、パネラーから今までの経験から具体的な取り組み状況や課題、そして中間報告で気になっている事柄等を紹介してもらいます。あわせて、皆様から事前にいただいたキャッチオール規制に関するご質問について、登壇者間で意見を交わしていきます。

アカデミアの安全保障貿易管理に携わっている皆様の考え方の一助になれば幸いです。

モデレーター：石原 祐志（慶應義塾）

パネラー：蔭山 有生（KDDI 株式会社）、狩野 幹人（三重大学）、山越 祥子（筑波大学）、古原 聡美（九州工業大学）

※登壇者の略歴は12～14頁を参照。

15:20-15:40 休憩

15:40-17:10 パネル討論②「貨物の輸出管理 ー通関手続きと税関輸出事後調査対応ー」

【概要】

2022年6月10日に財務省関税局から各税関に「経済安全保障に係る税関における対応について」（財関第439号）が発せられ、日本政府の「経済財政運営と改革の基本方針2022」（令和4年6月7日閣議決定）を踏まえ、外為法において輸出が規制されている軍事転用のおそれのある製品や技術等の流出につながる不正輸出を防止することを念頭に、今後当面の間の経済安全保障に係る税関の取組みを定めました。その取組みの

ひとつに「適正な輸出通関の徹底を図るとともに、輸出された貨物に関する事後調査の充実を図る。」とあり、2022年7月1日以降、各税関による大学に対しての輸出事後調査が増えてきています。

各大学の輸出管理実務はこれまで外為法遵守に対応してきましたが、それに加え関税法についても対応する必要性を知り、実務の見直しを迫られています。

本パネル討論ではパネラーに各大学や企業での貨物の輸出管理の取組み、輸出事後調査の経験談や受査後の改善点等について紹介・討論していただきます。EFA2024参加大学等の貨物の輸出管理の改善や税関の輸出事後調査の準備に役立てていただければ幸いです。

モデレーター：小野 薫（電気通信大学）

パネラー：今野 瑞穂（東京科学大学）、鈴木 則人（京都大学）、初 春（九州大学）、小島 慶久（大陽日酸株式会社）

※登壇者の略歴は14～15頁を参照。

17:10-17:15 閉会宣言

則竹 幹子（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会副委員長）

17:40- 情報交換会

【東京理科大学葛飾キャンパス管理棟 2階学生食堂】

【パネル討論登壇者の略歴および発表題目】

分科会1「アカデミアの該非判定」

◆講師、司会進行

高橋 真一（芝浦工業大学）

職員

<略歴>

2021年6月～現在 研究推進部研究推進課 安全保障貿易管理 担当

<題目>

- ・各大学の取組み紹介の前に、該非判定の位置付けなどについて概説致します。
- ・芝浦工業大学における取組み、事例紹介

◆講師

金 美善 (大阪大学)

教授、安全保障輸出管理マネージャー、研究インテグリティ・マネジメント室長

<略歴>

2007年9月 帝塚山大学法政策学部 助手
2009年4月 大阪大学工学研究科 特任助教
2011年6月 オランダライデン大学付属地域研究センター 客員研究員
2013年3月 大阪大学法学研究科 博士後期課程修了 (法学博士)
2015年4月 大阪大学工学研究科 特任講師
2018年10月 大阪大学レーザー科学研究所 特任講師
2020年12月 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 産学連携本部 主任
2022年4月～現在 大阪大学 研究オフィス 教授
2022年4月～現在 近畿地区大学輸出管理担当者ネットワーク世話人

<題目>

貨物・技術リスト (合体マトリクス) を見るに当たり必要となる法令上の知識

◆講師

足立 和成 (山形大学)

教授、大学院理工学研究科、情報エレクトロニクス専攻

<略歴>

1984年9月 東京工業大学工学部電気電子工学科 卒業
1984年9月-1985年8月 マンチェスタ工科大学 (The University of Manchester, Institute of Science and Technology) へ交換留学 (文部省学生国際交流制度給費留学生)
1986年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程 修了
1989年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程 修了 (工学博士)
1989年4月 山形大学工学部 助手
1991年4月 山形大学工学部 講師
1994年4月 山形大学工学部 助教授
1995年4月-1996年3月 ペンシルバニア州立大学 (Pennsylvania State University) 音響振動研究施設 (Center for Acoustics and Vibration) 客員教授
2002年4月-2004年4月 山形大学地域共同研究センター 専任助教授
2003年7月-2003年12月 マンチェスタ工科大学 客員研究員 (文部科学省在外研究員)
2004年4月 山形大学工学部 助教授

<p>2004年4月-2006年2月 (有)パウダーテクノコーポレーション 取締役(兼業)</p> <p>2007年4月 山形大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 教授</p> <p>2007年4月-2009年9月 山形県商工労働観光部工業振興課 リエゾン戦略推進員 (副主幹級)(出向)</p> <p>2009年3月-2012年3月 経済産業省安全保障貿易管理調査員(兼業)</p> <p>2009年10月 山形大学大学院理工学研究科 教授</p> <p>2015年4月-2017年2月 文部科学省科学技術・学術審議会専門委員(兼業)</p> <p>2015年6月-2017年11月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員(兼業)</p> <p>2017年7月-現在 経済産業省安全保障貿易管理自主管理促進アドバイザー(兼業)</p> <p>2010年11月-現在 山形大学工学部コンプライアンス体制整備室員(副室長)</p> <p><題目> 大学における安全保障輸出管理上の該非判定体制の構築</p>
<p>◆講師</p> <p>中塚 祐子 (奈良先端科学技術大学院大学)</p> <p>研究推進機構研究推進部門 URA(スタッフ)</p> <p><略歴></p> <p>2012年3月 京都大学工学部工業化学科 卒業</p> <p>2014年3月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻修士課程 修了</p> <p>2015年3月~2016年2月 ドイツ・イエナ大学オットー・ショット研究所 客員研究員</p> <p>2017年3月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程 修了 博士(工学)</p> <p>2017年4月 東京大学生産技術研究所 助教</p> <p>2019年4月 現職</p> <p><題目> 奈良先端科学技術大学院大学における輸出管理—該非判定の側面から—</p>
<p>大林 明彦 (北海道大学)</p> <p>工学研究院 客員教授</p> <p><略歴></p> <p>1983年3月 東京大学 工学部 計数工学科卒業</p> <p>1983年4月 日本電気株式会社 一貫してコンピュータ開発に従事</p> <p>1990年7月~1年間 米国マサチューセッツ工科大学客員研究員</p> <p>2011年5月 輸出管理本部 審査総括</p> <p>2016年5月 国立大学法人北海道大学 産学・地域協働推進機構 教授</p>

2017年6月～現在 経済産業省委託事業 安全保障貿易自主管理促進アドバイザー
2021年4月～現在 経済産業省 安全保障貿易管理調査員
2024年4月～現在 北海道大学 工学研究院 客員教授

<題目>

AIを用いた該非判定の取組、デモアプリの紹介

分科会2「輸出管理法におけるアカデミアセーフガード条項について」

◆モデレーター

佐藤 弘基 (九州大学)

法務統括室・室長補佐 特任教授

<略歴>

2007年 九州大学知的財産本部

2011年 九州大学国際法務室 (2019年 法務統括室に改組)

2019年 現職

2024年 米国国務省 IVLP 参加

<兼業>

経産省安全保障貿易自主管理促進事業アドバイザー

G7 科学トラック研究セキュリティ・インテグリティ作業部会 VA/TK 管理委員会

福岡大学 客員教授、山口大学 客員教授、九州産業大学 非常勤講師 等

◆話題提供者

山田 朗 (愛媛大学)

先端研究院 先端研究高度支援室 シニア・リサーチアドミニストレーター

博士 (理学)

<略歴>

2002年4月～ 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター 助教

2009年1月～ 愛媛大学先端研究・学術推進機構 リサーチアドミニストレーター

2023年7月～ 現職

テーマ：安全保障輸出管理にかかる研究者の理解と大学輸出管理担当者の実務

-国立大学附置研究所・センター会議のアンケート結果の紹介-

◆話題提供者

初 春 (九州大学)

学術推進准主幹

法務統括室 国際法務主任

<略歴>

2005年 福岡大学法学部 卒業

九州大学大学院法学府修士課程入学、留学 (アイルランド・ダブリン)

2008年 九州大学大学院法学府国際関係法学専攻 (国際経済法) 修士課程修了
修士号を取得

2008年 貿易会社等複数企業に勤務

2013年 株式会社安川電機知的財産本部にて国内外の知財・法務関係に従事

2015年 九州大学国際法務室 (現法務統括室) にて国際法務及び安全保障手輸出管理関
連業務に従事 現在に至る

2015年～2016年 九州大学受託事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業 (文部
科学省)」米国大学の現状調査チームメンバー

2016年 Office of General Counsel (OGC), American University 法務研修
Hogan Lovells US LLP 法律事務所法務研修 (ワシントン)

<論文・報告書等>

- 2023年5月 河野 俊行, 佐藤 弘基, 初 春 「経済安全保障と大学 —輸出管理法における
アカデミアセーフガード条項の意義」研究 技術 計画, 38巻

- 2016年12月 初 春 「米国大学の法務体制-機能と重要性-

<メイン業務 国際法務・安全保障輸出管理>

・国際契約のドラフティング、交渉、締結支援

・国際活動にかかるコンプライアンス実務 (安全保障輸出管理や他国法律の適用対応、
法的リスクのレビュー、研究インテグリティの確保にかかる体制の構築等)

・学内法務相談対応 等

テーマ：輸出管理法におけるアカデミアセーフガード条項 (日本、米国、欧州の比較)

パネル討論①「キャッチオール」の現状と課題

◆モデレーター

石原 祐志 (慶應義塾)

学術研究支援部総務担当専門員

<略歴>

1985年 早稲田大学理工学研究科電気工学専攻前期課程修了。科学技術庁入庁。

2001年 インドネシア共和国インドネシア科学院(LIPI)長官顧問
 2007年 筑波大学研究事業部長。同大学知的財産本部副本部長。同大学先端学際領域
 研究センター教授
 2016年 長野工業高等専門学校校長
 2019年 理化学研究所科技ハブ産連本部部長。長野工業高等専門学校名誉教授。
 2021年 現職

◆パネラー

蔭山 有生 (KDDI 株式会社)
 知的財産部 知財渉外グループ 経済安全保障チームリーダー

<略歴>

2011年 上智大学法学部国際関係法学科卒
 2018年 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了

<資格>

安全保障貿易管理士(総合)、AIPE 認定知財アナリストなど

<職歴>

政府系機関、電子部品メーカーを経て現職。経済安全保障の統括業務、特許利活用、
 IP ランドスケープなどに従事。

<社外委員会など>

2018年～ 一般財団法人安全保障貿易情報センター各種委員会委員(あり方専門委
 員会、米国輸出管理法制度分科会など)

2019年～ 一般社団法人日本知的財産協会ライセンス第2委員会委員長代理
 (小委員長)

2024年～ 有識者連携 WGSEP 検討チーム委員

◆パネラー

狩野 幹人 (三重大学)
 学長補佐(危機管理担当)、
 研究・社会連携統括本部 准教授、知財ガバナンス部門 部門長、研究インテグリティ
 部門 副部門長、大学院地域イノベーション学研究科 准教授

<略歴>

2003年3月 三重大学 大学院生物資源学研究科 博士後期課程において、
 博士(学術)

2004年9月 同大学 知的財産統括室 助手

2013年4月 同大学 社会連携研究センター 知的財産統括室 副室長

2015年4月 同大学 社会連携研究センター 准教授、大学院地域イノベーション学
 研究科 准教授

2022年4月	同大学 みえの未来創共創機構 准教授、知的財産マネジメント部門 部門長、産学官連携リスクマネジメント部門 副部門長
2023年4月	同大学 学長補佐（社会連携（リスクマネジメント・知財）担当）
2024年4月	現職
◆パネラー 山越 祥子（筑波大学） 利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授	
＜略歴＞ 2014年3月 東京大学農学生命科学研究科応用動物科学専攻 博士課程修了（農学） 2014年4月 東京大学 本部ライフサイエンス研究倫理支援室 特任助教 2018年12月 大阪大学 研究オフィス 特任講師（常勤） 2022年9月 現職	
◆パネラー 古原 聡美（九州工業大学） コンプライアンス室研究公正推進係 輸出管理専門員	
＜略歴＞ 2009年3月 東京大学 大学院新領域創成科学研究科修了 2009年4月 東京大学 附置研究所 事務職員 2014年1月 九州大学 学術研究推進支援機構研究戦略企画室 URA/助教 2015年4月 九州大学 学術研究・産学官連携本部 URA/研究推進専門員 2023年3月 九州工業大学コンプライアンス室研究公正推進係 専門職員/輸出管理専門員、利益相反アドバイザー	

パネル討論② 「貨物の輸出管理 ー通関手続きと税関輸出事後調査対応ー」

◆モデレーター 小野 薫（電気通信大学） 研究教育マネジメント推進室 特任教授 兼 輸出管理マネージャー	
＜略歴＞ 電機メーカーでの勤務を経て、2019年電気通信大学に着任。安全保障輸出管理業務を担当。経済産業省安全保障貿易自主管理促進アドバイザー。輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会事務局。多摩地域大学等安全保障輸出管理ネットワーク世話人。	

◆パネラー 今野 瑞穂（東京科学大学） 研究推進部国際連携推進課課長補佐、安全保障リスクマネジメント室国際コンプライアンスグループ長	
--	--

<p><略歴> 横浜国立大学経済学部経済法学科卒業後、東京工業大学事務職員となり、人事、知財管理、労務、(この間放送大学へ出向)、産学連携、研究企画に従事し、2018年、国際連携課への異動により安全保障輸出管理を担当し、現在に至る。</p> <p><題目> 税関からの指摘と改善に向けた取り組み</p>
<p>◆パネラー 鈴木 則人 (京都大学) 研究推進部 研究規範マネジメント室 安全保障輸出管理担当 特別専門業務職員</p>
<p><略歴> 機械メーカーでの勤務を経て、2022年に京都大学に着任。安全保障輸出管理業務を担当。</p> <p><題目> 輸出事後調査の対応と課題</p>
<p>◆パネラー 初 春 (九州大学)</p>
<p><略歴> p12に記載 <題目> 関税法による輸出事後調査への対応 ～九州大学の事例紹介～</p>
<p>◆パネラー 小島 慶久 (大陽日酸株式会社) 法務部担当課長 兼 日本酸素ホールディングス株式会社法務室担当課長</p>
<p><略歴> 慶應義塾大学法学部卒業後、大手自動車部品メーカー勤務を経て、2021年大陽日酸株式会社に着任。輸出管理統括部門の立場で大陽日酸及び日本酸素ホールディングスの輸出管理全般(規程管理、教育、審査、監査、輸出管理システム管理、海外拠点連携等)を担当。CISTEC(一般財団法人安全保障貿易情報センター)各専門委員会分科会委員(輸出管理のあり方専門委員会総合分科会、自主管理分科会、安全保障貿易情報分科会、制度専門委員会役務分科会、国際関係専門委員会米国輸出管理法制度分科会、エレクトロニクス専門委員会半導体製造装置・材料分科会、ABC兵器・ミサイル関連機器専門委員会生物・化学兵器製造装置分科会等)、安全保障貿易管理士(総合)、通関士有資格者。</p> <p><題目> 貨物の輸出管理 - 通関手続きと税関輸出事後調査対応 - 事例紹介</p>

運営資金等を支援いただいた企業・機関

一般財団法人安全保障貿易情報センター

合同会社日本輸出管理研究所

株式会社日興イノベーション

株式会社日立ソリューションズ

CISTEC 総合データベース

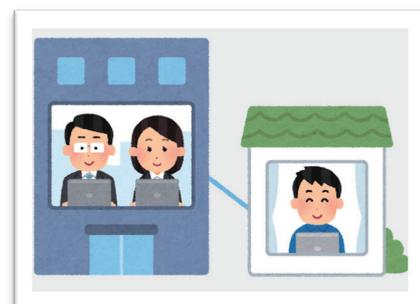
ガイダンスコーナー

ガイダンスコーナーがますます便利に！

働き方改革やテレワークの普及により、ガイダンスコーナーのご利用が拡大しています。このため、2023年12月4日より、ガイダンスコーナーで配信している電子書籍はすべて印刷可能とし、利便性を一層高めました。

収録 コンテンツ

モデルCPガイダンス／海外拠点のための安全保障
貿易管理ガイダンス
輸出管理品目ガイダンス 全編
(図説:軍事転用可能な民生品を含む)
海外法制度ガイダンス 全編



ガイダンス類の横断検索

- ・ガイダンス類をまとめて横断検索します。テキスト検索の結果から、ヒットした本文が効率よく閲覧可能。

電子書籍として印刷・閲覧可能

- ・ガイダンス類全編の電子書籍版も配信しています(印刷も可能)。

ガイダンスコーナーを導入すると。。

常に最新版のガイダンス類を24時間複数同時アクセスで閲覧可能です。テレワークの普及にも適応します。

これまでは複数の事業所で何冊も購入していたガイダンス類を、陳腐化を気にすることなく最新版が閲覧可能、オフィスの省スペース化にもなります。

賛助会員：月額 8,800円 (税込)
一般：月額 17,600円 (税込)

CISTEC

一般財団法人安全保障貿易情報センター

CISTEC

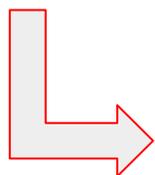


ご利用登録の発行後1年を経過しないと解約はできません。

EXPORT CONTROL INNOVATION!

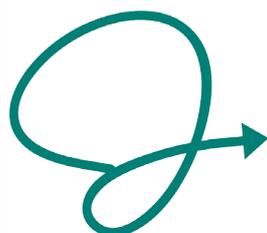
輸出管理を創意工夫する 日本輸出管理研究所

- ★ 外為法の輸出者等遵守基準大丈夫ですか？
- ★ 組織として該非判定能力を高めませんか？
- ★ 専門家育成の必要はありませんか？
- ★ 米国の輸出管理法制や制裁の知識は十分ですか？
- ★ 効率的な輸出管理について考えてみませんか？



**責任の重大さに気がつき困っている
輸出管理のご担当の方は、**

日本輸出管理研究所にご相談下さい
アポイントはE-Mail(j.takano@jecl.net)でお願いします。



**Japan
Export Control
Lab.**

会社情報

合同会社日本輸出管理研究所

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘1-1-3E116

代表者: 高野順一

設立: 2015年10月2日

EUアウトリーチプログラム事業一部受託実績

経済産業省委託調査事業受託実績

URL: <https://www.jecl.net>

e-mail: j.takano@jecl.net

tel: 090-9644-7456

海外の強制規格、認証の調査×設計コンサルティング

海外市場への進出をご検討される場合、
現地の強制規格（技術基準、試験方法）、認証の調査は必須です！

海外に新製品を上市するにあたり・・・

- 欧州CEマーキングが求める技術基準に対して、自社の建材は輸出できるか知りたい
- アジア諸国で使用される公的な技術基準に、現状の製品仕様を変更したい
- 海外の試験機関に対して、自社技術の適正な評価、更には認証手続を依頼したい

日興イノベシアのご支援においては、技術スペック・仕様の調査を踏まえ、輸出先国の公的規格（CCC、CEマーキングなど）、認証制度の調査支援を行い、望ましい設計変更をご提案いたします。



株式会社日興イノベシア
<https://www.nikko-innovatia.com/>

ご相談受付
TEL : 052-228-9772、Email : h.indou@nikko-innovatia.com

輸出管理を **漏れなく！手早く！安全に！**

HITACHI
Inspire the Next

法令リスク回避 & コンプライアンス強化

大学や研究機関にとっての安全保障貿易管理とは？

規制対象となる貨物や技術を、許可を取らずに輸出・提供してしまうと法律に基づき罰せられる場合があります。輸出管理はコンプライアンスの一環として、研究やその成果についても適切な管理が要求されています。



日立ソリューションズの「安全保障貿易管理ソリューション」は

輸出審査業務のフロー化や各種チェック業務など

システム活用で抜け漏れを防止し、法令リスク回避を支援します。

安全保障 日立 検索

NACCSから輸出入実績データを取り込み、事前取引審査の実績確認が可能！

安全保障貿易管理ソリューション www.hitachi-solutions.co.jp/ttp/



株式会社 日立ソリューションズ www.hitachi-solutions.co.jp

輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会名簿

2024年10月11日現在、五十音順

No.	氏名	所属	部署・役職	備考
1	足立和成	山形大学	大学院理工学研究科教授	委員
2	石尾則明	大阪公立大学	学術研究支援部研究推進課 輸出管理アドバイザー	オブザーバー
3	石川綾子	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーター 輸管マネージャー	委員長
4	石田英之	立命館大学	輸出管理アドバイザー	委員
5	石原祐志	慶應義塾大学	学術研究支援部 総務担当 専門員	委員
6	伊藤正実	群馬大学	研究産学連携推進機構 教授 産学連携知的財産部門 副部門長、 高度人材育成部門 研究支援人材育成コンソーシアム室長、輸出管理アドバイザー	副委員長
7	井内健介	北海道大学	産学・地域協働推進機構 教授	委員
8	印東宏紀	株式会社日興イノベーション	行政書士	オブザーバー
8	大川信太郎	森・濱田松本法律事務所	シニア・アソシエイト 弁護士	委員
10	大林明彦	北海道大学	工学研究院客員教授	委員
11	萩原康幸	九州工業大学	先端研究・社会連携本部 産学イノベーションセンター マネージャー (知的財産・技術移転担当)	委員
12	小野薫	電気通信大学	研究教育マネジメント推進室 特任教授 兼 輸出管理マネージャー	副事務局長
13	蔭山有生	KDDI株式会社	知的財産室知財渉外グループ	委員
14	狩野幹人	三重大学	学長補佐(危機管理担当)、研究・社会連携統括本部 准教授、 知財ガバナンス部門 部門長、研究インテグリティ部門 副部門長、 大学院地域イノベーション学研究所 准教授	監査人
15	川島大崇	東海国立大学機構(岐阜大学・名古屋大学)	研究戦略部 研究安全管理課 事務系専門職	オブザーバー
16	金美善	大阪大学	研究オフィス 教授 輸出管理マネージャー 研究インテグリティ・マネジメント室長	副委員長
17	小島慶久	大陽日酸株式会社	法務部 担当課長	オブザーバー
18	古原聡美	九州工業大学	コンプライアンス室/研究公正推進係 輸出管理専門員	委員
19	小柳義幸	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
20	今野瑞穂	東京科学大学	研究推進部 国際連携推進課 課長補佐 (兼)安全保障リスクマネジメント室 国際コンプライアンスグループ長	事務局
21	佐々木雅英	広島大学	輸出管理マネジメント室 主査	委員
22	佐藤弘基	九州大学	法務統括室 室長補佐・特任教授	委員
23	佐野恵利子	東京大学		委員
24	白石美知子	芝浦工業大学	研究推進部 部長	委員
25	高野順一	合同会社 日本輸出管理研究所	代表	委員
26	高橋真一	芝浦工業大学	研究推進部 研究推進課	委員
27	田沼伸久	明星大学	学苑・大学事務局 情報システム、研究支援ユニット 研究支援チーム チームリーダー	オブザーバー
28	中田修二	東海大学	総合科学技術研究所 客員教授	委員
29	中塚祐子	奈良先端科学技術大学院大学	研究推進機構 研究推進部門 URA	委員
30	中野実	株式会社 日立製作所	研究開発グループ 技術戦略室 技術統括センタ 産学官連携部	オブザーバー
31	則竹幹子	CISTEC	国際輸出管理調査・協力部 兼 情報サービス・研修部 上席主任研究員	副委員長
32	畑良三	CISTEC	輸出管理アドバイザー (兼) 該非判定アドバイザー	オブザーバー
33	初春	九州大学	法務統括室 国際法務主任	委員
34	樋口禎志		安全保障輸出管理コンサルタント	オブザーバー
35	平田和也	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
36	福井誠司	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
37	淵田英彦	慶應義塾大学	理工学部 学術研究支援課 専門員	オブザーバー
38	松原幸夫			特別顧問
39	水谷隆	三豊科学技術振興協会	理事長	オブザーバー
40	宮下史子	東京大学	安全保障輸出管理支援室 上席高度学術員	事務局長
41	宮林毅	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 学術・連携リスクマネジメント部門 部門長 特任教授	オブザーバー
42	三輪佳宏	理化学研究所	バイオリソース研究センター(BRC) 遺伝子材料開発室 室長	オブザーバー
43	山口聡子	北海道大学	研究推進部研究振興企画課 研究公正推進室 研究公正担当 係長	オブザーバー
44	山越祥子	筑波大学	利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授	副委員長
45	山田朗	愛媛大学	先端研究院 先端研究高度支援室 シニアリサーチアドミニストレーター	委員
46	山之内雄二	横浜国立大学	研究推進機構 輸出管理マネージャー	委員
47	渡辺修	東京理科大学	研究推進部 副主幹	委員

輸出管理 DAY for ACADEMIA 2024 資料

発行 2024 年 11 月
発行者 輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会
HP <https://efa.ken-shin.net/>
E-mail efa.academiaoffice@gmail.com
